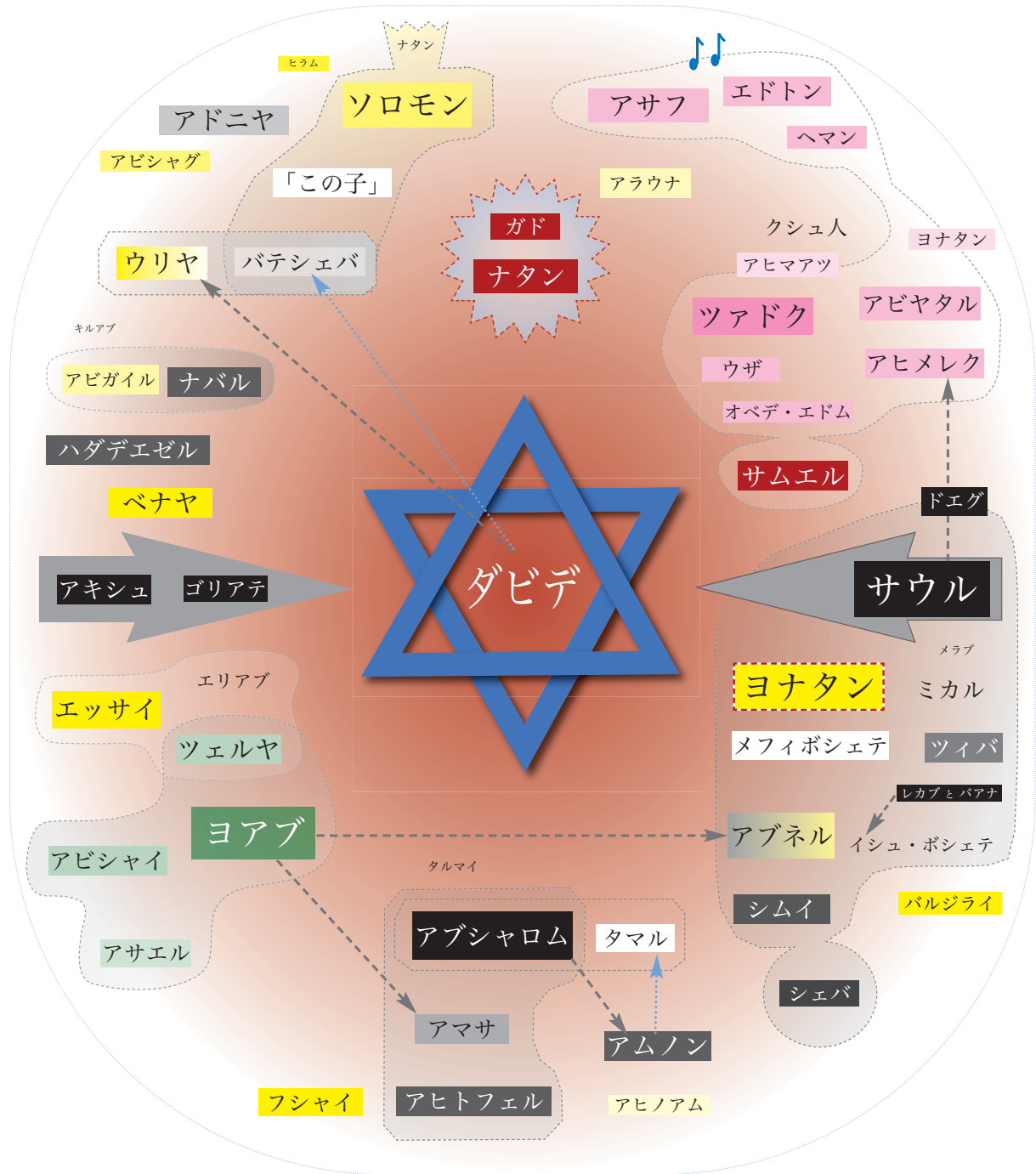


ダビデを



取り巻く人々

ヨナタンについて

1. ヨナタンについて、2つの事が良く知られています。第1は、彼はダビデの親友であった事（1サム18:1, 20:17, 2サム1:26）。第2は、ヨナタンはダビデを殺そうとしたサウル王の息子であったにもかかわらず、ダビデを愛した事。彼は父のように、ダビデを脅威とは見なしませんでした(1サム20:30-31)。

2. ダビデのように、ヨナタンはペリシテ人との戦いにおいて、主に対する信仰を表わしました(1サム14:6-14, 2サム1:17-27)。彼らの持っていた同じ主に対する信仰が、彼らの互いの友情と尊敬を深めた事は明らかです。

3. しかし、ヨナタンの信仰を最も良く表わしているのは、おそらく1サム20章に出てくる、ダビデとの契約でしょう。(18:1-4も参照)。サウルと違い、ヨナタンは神が次の王にダビデを選ばれた事を知り、喜びました。

4. この素晴らしい章の中に、ヨナタンの積極的な感情と否定的な感情が表れています。20:33-34に見られる、父親の恥ずべき態度と行動に対する怒りと、20:41に見られる悲しみ、またダビデに対する愛に注目して下さい。

5. なぜヨナタンは、矢を射る事を使ってダビデにメッセージを送るようにしたのでしょう。サウルからの危険が関係していたのは明らかです。もっともヨナタンはそのような危険はあるはずがないと、最初は思っていました(20:1-3)。しかしそれでも、彼はダビデが提案したテスト(20:4-8)に協力しました。

ヨナタンを説明する言葉

下のリストの単語を使って、1サム20章のヨナタンの事を説明しましょう。彼を説明するのにぴったりの単語も、そうでないものもあるでしょう。それを参考にして次のページを書き入れましょう。

行動的

野心的

怒っていた

信仰的

無遠慮、大胆

注意深い

勇気があった

契約を重んじた

保身的

失望した

感情的

熱心

恐れた

将来の事を考えた

悲しんだ

敬虔

影響力があった

情報を与えた

役立った

正直

不安定

忠誠心

男らしい

純真な、ナイーブ

従順

日和見主義

力強い

現実的

義務感があった

秘密主義

自己中心

真剣

信頼した

賢い

この世的

ヨナタンは...

1サムエル20章を読んで、ヨナタンはどういう人だったか説明して下さい。

適用

ヨナタン

もしあなたが、ヨナタンについて1つの特徴を挙げるとしたら（1サム20章から）、何を挙げるでしょうか？おそらく中心的な特徴は、彼はダビデの忠実な友だったという事でしょう。これは早い頃、18:1-4の2人の間で交わした契約からもわかります。それは、サウル王のダビデに対するあからさまな敵対心によって試され、また強められました。

ヨナタンについて考える事は、純粋な聖書的な愛について考える事と重なり、新約聖書の愛の定義を思い起こさせます。パウロの教えに添って考えると、ヨナタンはダビデに対してねたまず、悪い事を考えず、また自己中心的ではありません（1コリ13:4-5）。父親とは正反対でした。また2ペテロ1:5-7のペテロの愛の「ピラミッド」に添って考えると、ヨナタンのダビデに対する忠誠心と愛は、神様に対する信仰と敬虔から来る勇気の土台からきたものです。その勇気がおそらく、2ペテロ1:5の「徳」の意味でしょう。サウルがダビデに敵対している中で、ダビデへの忠誠心を保つことは、信仰と勇気が必要でした。ペリシテ人との戦いにおいても、同じ事が言えます。サウルは不安定で臆病でしたが、ヨナタンはそうではありませんでした。

何年も後になって、フシャイはダビデのもう1人の重要な友人になりました。彼もまた、自分の危険を顧みず、信仰と勇気を持ってダビデを助け、忠誠を尽くしました。（2サム15:32-37を参照）1サム20章のヨナタンのように、彼は注意深く、また従順にダビデに必要な情報を伝え、彼の命をアブシャロムから救いました。

ヨナタンは...



ヨナタンとフシャイがダビデに忠実だったように、私たちが主に対して忠実であるとするなら、ペテロの手紙にあるように信仰に勇気を加えなくてはなりません。アヒトフェルとは異なり(2サム15:31)、フシャイとヨナタンは最後まで忠実でした。ペテロもです(ヨハネ21:18-19)。純粋な愛は最後まで続きます(1コリ13:7-8)。